

## 熊谷市緑の基本計画（案）に対する意見及び市の考え方

### 1 意見募集期間

令和2年12月21日（月曜日）から令和3年1月20日（水曜日）まで

### 2 意見の提出者数及び意見の件数

提出者数 3名

意見の件数 7件

### 3 意見の概要及び市の考え方

該当箇所	意見の概要	市の考え方
2章 現状と課題 2-1. 緑の現状 (3)緑地の状況 ①緑現況調査 P18	緑地現況調査には、いつの時点での結果なのか、明記すべきではないか。 また、例えば、5年前や10年前に比べて、どのくらい減っているのか、増えているのか、その原因についても表記すべきではないか。	ご指摘のとおり、調査時期を明記いたします。 また、緑被率の増減等については、P33「3-2. 旧計画の目標の達成状況」に、旧計画策定時の緑被率や達成状況の評価を記載しておりますので、ご意見の趣旨は計画に含まれていません。
4章 緑地の配置計画 4-2. 地区別の配置計画 (5)江南地区 P43	「多様な自然の残る場所です。・・・里山や斜面林の保全と活用を進めます。」とあるが、最近の太陽光施設設置の現状と課題について、記載が必要ではないか。	P30「本市の緑に関する課題」に追記させていただきます。

<p>5章 緑地に関する施策 の推進 5-2. 主な施策 1-1-3 貴重な野生生物が 生息する地区の保 全 P49</p>	<p>「ムサシトミヨ」については、保護団体任せにせず、教育委員会が中心になって、少なくとも市内全小学校に、紹介する必要があるのではないか。写真だけでなく、実際に鑑賞し生息する環境を見ることは大切であると考え。「こうした地域では・・・適切な管理に取り組む必要がある」と記載があるが、「ムサシトミヨ」の保護、育成に対する地域の方のとらえ方は、人によって大きく異なっていると思うので、地域の方を対象とした啓発活動に市が中心となって取り組む必要があると考える。</p>	<p>ムサシトミヨを初めとした貴重な動植物の保護活動について、地域住民の方を対象とした啓発活動は重要であると考えておりますので、盛り込むよう文言を修正いたします。 また、市内小学校への環境教育については、ご意見として伺い、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>
<p>5章 緑地に関する施策 の推進 5-2. 主な施策 3-1 公共施設 の緑化 P56、57</p>	<p>公共施設の緑化の際、量の確保のみではなく緑の質を保つことを重視してほしい。施設本来の機能を損なわないよう管理を徹底するようにし、人間にとって好ましく見える緑としてほしい。また、緑には鳥類や虫などさまざまな生物を集める豊かな機能がある一方、鳥の糞害や不快害虫を含む害虫の繁殖など人間にとってかならずしもうれしくない影響もあるのでバランスをとれるように設計などを配慮してほしい。</p>	<p>公共施設の緑化において、量の確保だけではなく質を保つことの重要性を認識し、管理に努めてまいります。また、いただいたご意見は、今後の施策の参考にさせていただきます。</p>

<p>6章 緑地の保全及び緑 化を推進する地区 6-2. 緑化重点地 区 表7 P77</p>	<p>「吉原地区」と記載があるが、「吉岡地区」の誤りではないか。</p>	<p>記載誤りでした。ご指摘のとおり修正いたします。</p>
<p>6章 緑地の保全及び緑 化を推進する地区 6-2. 緑化重点地 区 【江南地区】 P80</p>	<p>江南地区の里山は、緑地保全地区として指定すべきではないか。緑化重点地区は市街化区域に指定するとあるのに、検討対象区域の江南地区に里山が記載されているのはなぜか。</p>	<p>緑化重点地区は市街化区域を指定の対象としていることから、「里山」の表記は削除いたします。また、緑地保全地区の指定につきましては、引き続き検討して参りたいと考えております。</p>
<p>6章 緑地の保全及び緑 化を推進する地区 6-3. 緑化保全地 区 P82</p>	<p>指定が可能になるよう、「参加の場所と機会を提供する」では弱すぎる。「市が積極的に支援する」くらいは表記してほしい。</p>	<p>ご意見を踏まえ修正いたします。</p>